取扱説明書

このたびは DX アンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DXアンテナ

2K4K8K

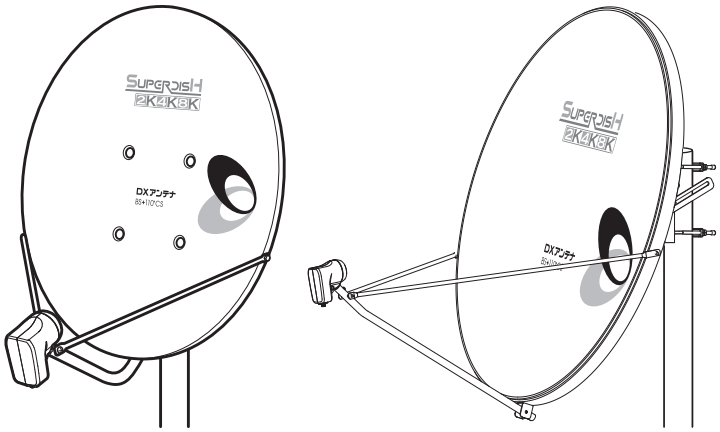
テレビ共同受信機器

75形BS・110度CSアンテナ
SHA751（BL型式 SHA-75）

90形BS・110度CSアンテナ
SHA901（BL型式 SHA-90）

一般財団法人 ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

新4K8K衛星放送に対応
すべての2K・4K・8K放送（3224MHz）に対応しています。



<SHA751>　　<SHA901>

もくじ

	ページ
取扱説明書	
付属品	1
取扱い上のご注意	1
安全上のご注意	2
お取扱の前に	3
メンテナンス	3
性能規格	3
各部の名称	4
保証について	4
施工説明書	
設置上のご注意	5
使用部品	5
設置例	5
組立方法	6
取付方法	7
同軸ケーブルの接続方法と出力端子への接続	8
調整方法	9～11
外形寸法図	12
お問い合わせ	12

このアンテナはスカパー!(110度CS)を受信できますが、スカパー!プレミアムサービス(JCSAT3,4)は受信できません。

付属品

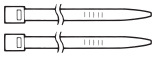
■SHA751

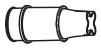
固定バンド…1本

防水キャップ…1個

取扱説明書…1部

■SHA901


固定バンド…2本


防水キャップ…1個

取扱説明書…1部

取扱い上のご注意

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 取付のときは、2人以上で行ってください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、アームやステー部に無理な力が加わらないように注意してください。
- アンテナ取り付け場所の安全性と安定性を十分に考慮してください。
- 組み立ての際、ネジ類は、スパナなど工具を用いて指定の締付トルクで締め付け、固定してください。
- コンバーターへの接続は、4K・8K放送（3224MHz）に対応したS-5C-FBまたはS-7C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。ケーブルに適したC15形のF形接栓をご使用ください。接続後は必ず付属の防水キャップまたは市販の自己融着テープ、ビニルテープなどを使用して防水処理を行なってください。
- 同軸ケーブルは、心線と編組が絶対にショートしないように注意して先端加工してください。

取扱説明書

安全上のご注意

	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は接触禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合はコンセントを抜く指示。)が描かれています。

警告　誤った取り扱いにより使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示しています。

表示された電源電圧（DC15V）以外で使用しない
火災や感電の原因となります。

コンバーターの分解、修理、改造をしない
感電やけがの原因や、性能維持できなくなり故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご相談ください。

アンテナを落としたり、コンバーターが破損した場合は、すぐに使用を中止する
接続しているチューナーの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると感電やけがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れない
感電の原因となります。

この製品に非通電型機器を接続しない
この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、非通電機器の挿入により火災や感電の原因となります。

同軸ケーブルなどを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしない
同軸ケーブルに流れる電流のショートなどにより、火災や感電の原因となります。

アンテナの部品や工具類を高い所から落とさない
けがの原因となります。

不安定な場所、人や車両の通行の妨げになる場所、高所など足場の悪い場所で設置工事をしない
転落や、けがの原因となります。

風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日や暗い所では、設置工事をしない
転落や、部品の落下の危険があります。

取付ネジや接栓などは、指定のトルクで締め付ける
指定以上のトルクでは部品の破損、指定以下のトルクでは緩みにより部品の落下などの危険があります。

送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しない
アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。
アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。

注意　誤った取り扱いにより使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

台風の後や積雪の後などは、点検を販売店または工事店に相談する
アンテナの取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損や落下により、けがの原因となります。

マンションやアパートなどでは、管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取り付ける
アンテナの取り付けが規制されている場合があります。

アンテナの表面にシール類を貼ったり、塗装しない
太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバーターが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。
（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）

取扱説明書

お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- **雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪が付着すると、電波が弱くなり、受信できなくなる場合があります。**
- 設置後、万一締め付けや取り付けにゆるみが生じると危険ですので、定期的に点検をしてください。
- 出力端子に取り付ける同軸ケーブルの心線径が1.0㎜より太いものを使用する場合は、必ずコンタクトピン付のC15形接栓を使用してください。心線径が1.0㎜より太いケーブルを直接接続すると故障の原因となります。
- すべての放送(2K･4K･8K)を見るためには、3224MHzに対応した同軸ケーブル、ブースター、分配器などが必要です。

メンテナンス

いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検を依頼してください。
※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

性能規格

品名	75形BS・110度CSアンテナ
型番(BL型式)	SHA751 (SHA-75)
受信周波数(GHz)	11.70～12.75
受信偏波	右旋円偏波・左旋円編波
アンテナ利得(dBi)	37.4以上
指向性	ITU-R BO.1213 主偏波・交差偏波に適合
G/T (dB/K)	14.1以上
受風面積(m²)	0.55
耐風速(m/s)	破壊風速 60 注1)
適合マスト径(mm)	φ48.6～90.0
仰角調整範囲(°)	23～67 (中間取付23～51)
質量(kg)	6.0 (コンバーター含む)

注1)破壊風速:アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速

〈BS・110度CSコンバーター部〉	
入力周波数(GHz)	11.70～12.75
出力周波数(MHz)	右旋円偏波:1032～2072 / 左旋円偏波:2224～3224
総合利得(dB)	BS帯域:52±4 / CS帯域:52±6
利得偏差(dBp-p)	右旋BS、右旋CS、左旋BS、左旋CSの各帯域内で4以下 右旋BS･CSおよび左旋BS･CSの受信帯域内で6以下 (任意の受信チャンネル帯域内で1.3以下)
雑音指数(dB)	1.2以下
出力電圧定在波比	2.5以下
相互変調妨害比	−70dB(mW)入力の2信号において55dB以上
イメージ妨害抑圧比	55dB以上
局部発振周波数の漂動	右旋円偏波:10.678GHz±1.5MHz以内(−30℃～+50℃) 左旋円偏波:9.505GHz±1.5MHz以内 (−30℃～+50℃)
局部発振周波数(GHz)	右旋円偏波:10.678 / 左旋円偏波:9.505
局部発振信号の漏洩(入力端子)	−55dBmW以下
局発位相雑音(dBc/Hz)	−55(1kHz)以下、−73 (5kHz)以下、−83 (10kHz)以下
電源	DC15V 4W以下
外形寸法(mm)	(H)110×(W)80×(D)58
質量(kg)	0.17

品名	90形BS・110度CSアンテナ
型番(BL型式)	SHA901 (SHA-90)
受信周波数(GHz)	11.70～12.75
受信偏波	右旋円偏波・左旋円編波
アンテナ利得(dBi)	39.0以上
指向性	ITU-R BO.1213 主偏波・交差偏波に適合
G/T (dB/K)	15.7以上
受風面積(m²)	0.73
耐風速(m/s)	破壊風速 60 注1)
適合マスト径(mm)	φ48.6～90.0
仰角調整範囲(°)	25～65 (中間取付25～55)
質量(kg)	13.5 (コンバーター含む)

注1)破壊風速:アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速

〈BS・110度CSコンバーター部〉	
入力周波数(GHz)	11.70～12.75
出力周波数(MHz)	右旋円偏波:1032～2072 / 左旋円偏波:2224～3224
総合利得(dB)	BS帯域:52±4 / CS帯域:52±6
利得偏差(dBp-p)	右旋BS、右旋CS、左旋BS、左旋CSの各帯域内で4以下 右旋BS･CSおよび左旋BS･CSの受信帯域内で6以下 (任意の受信チャンネル帯域内で1.3以下)
雑音指数(dB)	1.2以下
出力電圧定在波比	2.5以下
相互変調妨害比	−70dB(mW)入力の2信号において55dB以上
イメージ妨害抑圧比	55dB以上
局部発振周波数の漂動	右旋円偏波:10.678GHz±1.5MHz以内(−30℃～+50℃) 左旋円偏波:9.505GHz±1.5MHz以内 (−30℃～+50℃)
局部発振周波数(GHz)	右旋円偏波:10.678 / 左旋円偏波:9.505
局部発振信号の漏洩(入力端子)	−55dBmW以下
局発位相雑音(dBc/Hz)	−55(1kHz)以下、−73 (5kHz)以下、−83 (10kHz)以下
電源	DC15V 4W以下
外形寸法(mm)	(H)110×(W)80×(D)58
質量(kg)	0.17

仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

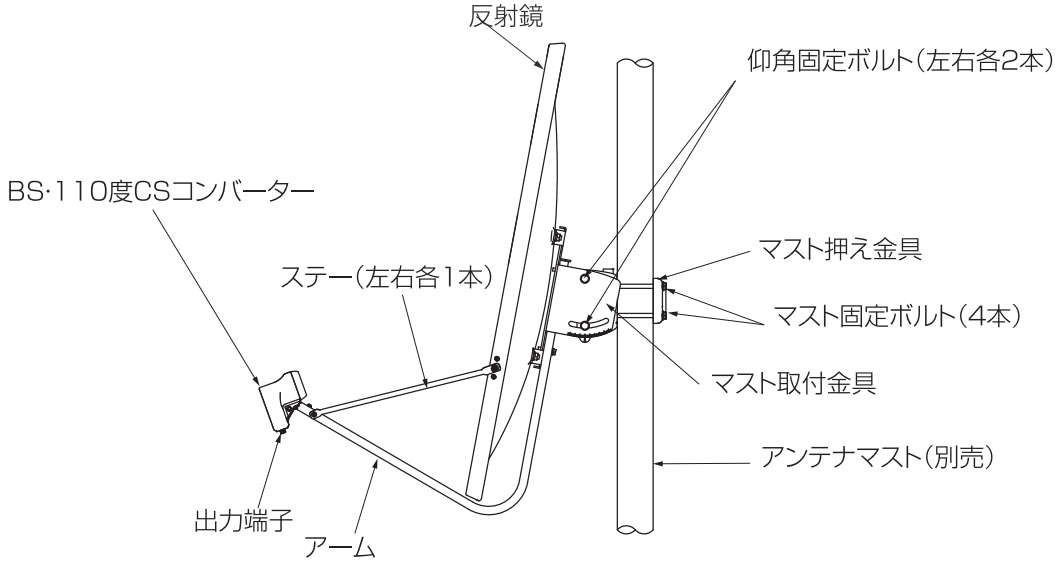
2K4K8K

2K･4K･8K放送対応マークは、BS･110度CS 2K･4K･8K放送(3224MHz)に対応した機器であることを示します。

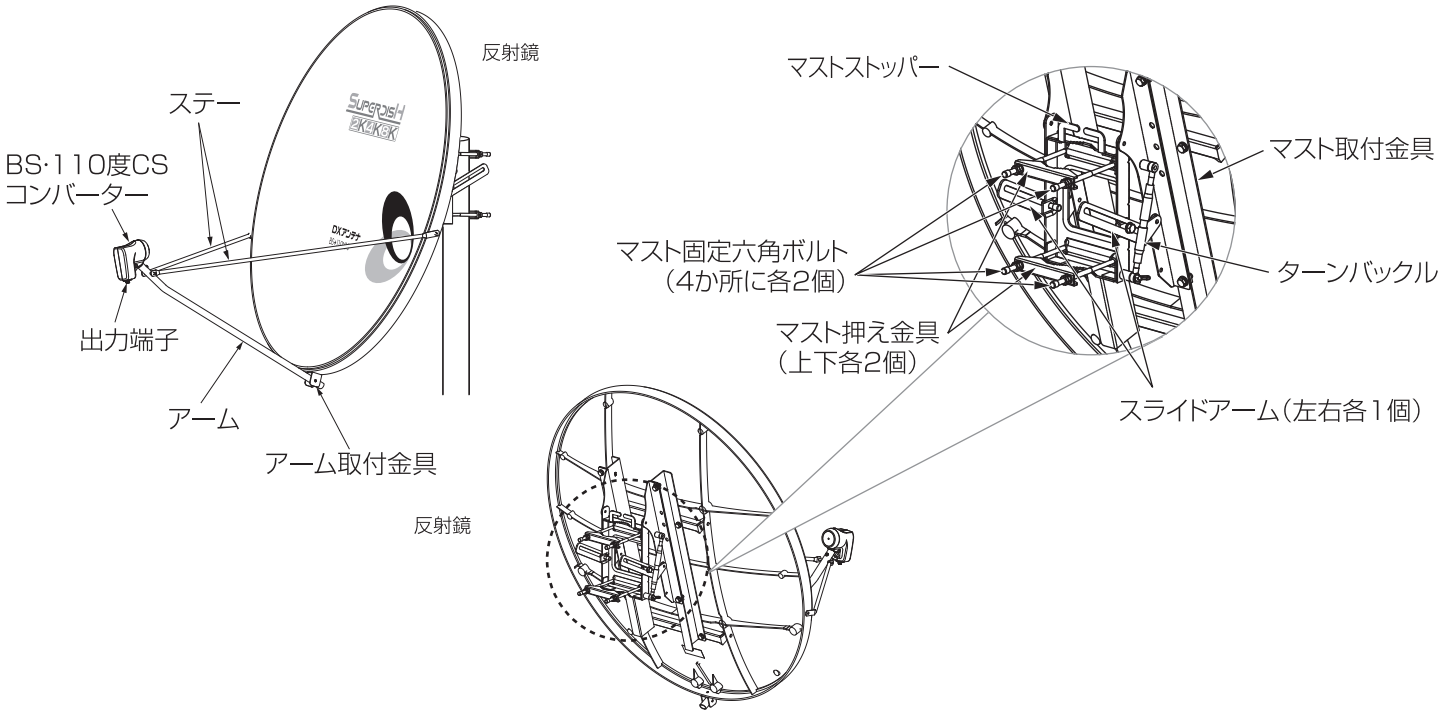
取扱説明書

各部の名称

■ SHA751



■ SHA901



保証について

- この製品の保証期間は、お引き渡しの日から5年間(コンバーター部は2年間)です。保証期間内に取扱説明書、施工説明書記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合せください。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

①住宅、事務所、学校、病院、ホテルまたは旅館以外で使用した場合の不具合。
②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
③メーカーが定める施工説明書などを逸脱した施工に起因する不具合。
④メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合。
⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合。
⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

施工説明書

ご使用の前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。また施工前に製品の外観に異常がないか、付属品が正しく入っているか確認してください。（この製品は、放送法等の法規が適用されます。）

当社の定める施工説明を逸脱しない方法で据付工事を行い不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合、BLマーク証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、一般財団法人 ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。

- **BLマーク証紙の貼付（又は刻印等）がされている部品については、万一、当社又は設置工事施工者による瑕疵保障責任等が行えない場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。**
- **BL保険制度については、同財団のホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、同財団（Tel 03−5211−0680）でもお受け致します。**

設置上のご注意

次のような場所に設置しないでください。

- 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
- 人や車両の通行の妨げになる場所
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
- 煙突の付近や、高温になる場所

組み立てや取り付けのネジやボルトは、指定の締付トルクで締め付け、固定してください。

使用部品

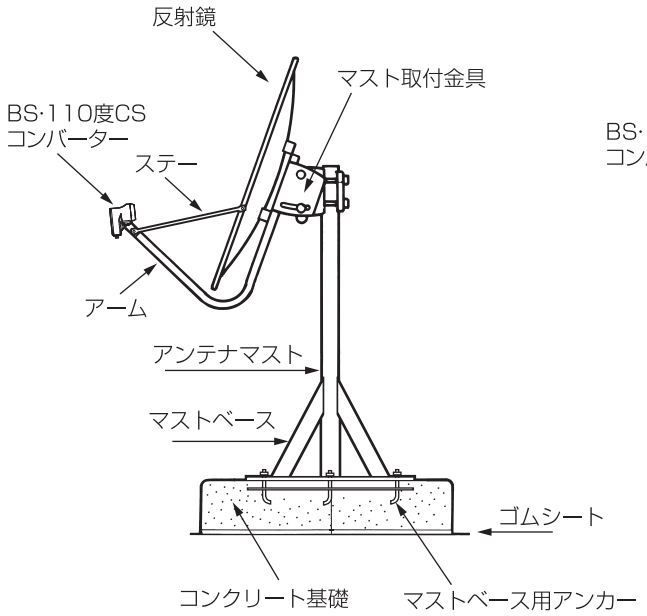
- 4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FBまたはS-7C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- 接栓は、使用する同軸ケーブルに適したC１５形のF形接栓または同等以上の性能を有するコネクタをご使用ください。

設置例

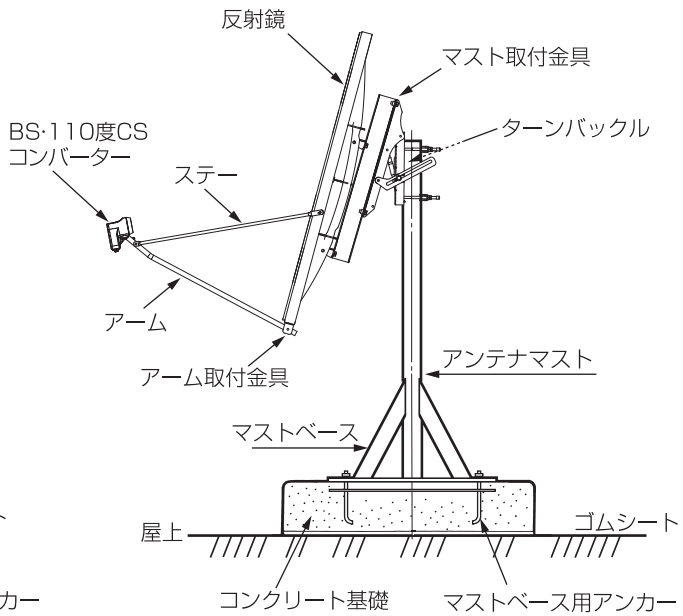
ご注意

- アンテナマストは垂直に立ててください。
- 屋上などに設置する場合は、強度･安全確保や防水処理が必要ですので、専門業者へご相談ください。

■ SHA751



■ SHA901



施工説明書

組立方法

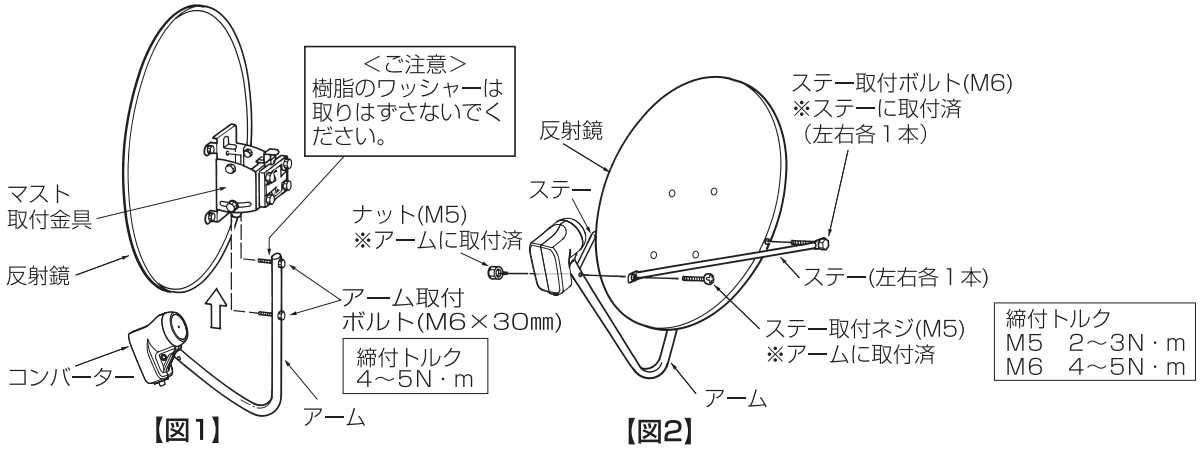
■ SHA751

＜アームとステーの組立て＞

①反射鏡裏面のマスト取付金具にアームを取り付け、スパナなどを用いて、アーム取付ボルト(M6)を指定トルクで固定してください。(図1参照)

②アームを取り付けた後、ステーを取り付けます。このとき、ステーのアーム側をステー取付ネジ(M5)とナット(M5)で仮止めします。(図2参照)

③ステーの反射鏡側の取付けボルト(M6)を左右交互に締め付けます。最後にアーム側のステー取付ネジ(M5)を締め付けてください。(アーム側を先に締め込むと組み立てにくくなります。)(図2参照)



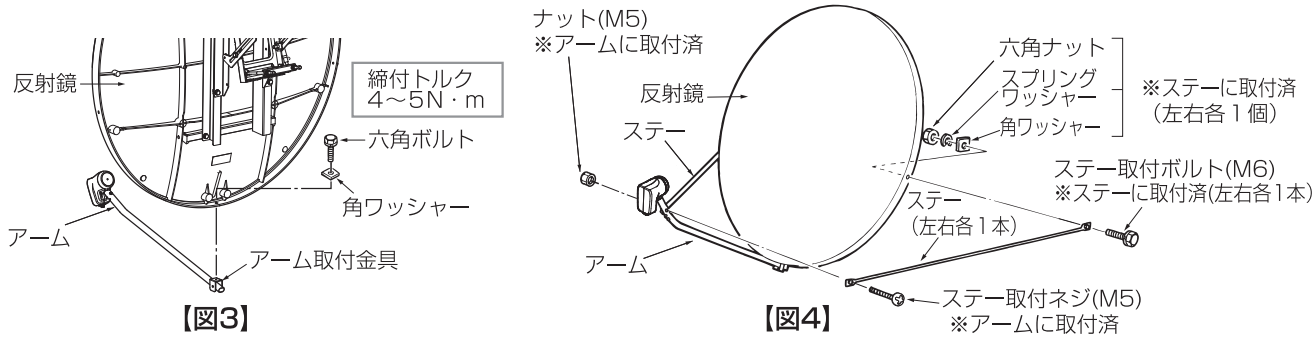
■ SHA901

＜アームとステーの組立て＞

①アームの先端についているアーム取付金具から角ワッシャーと六角ボルトをはずし、反射鏡に仮止めしてください（図3参照）

②アームを取り付けた後、ステーを取り付けます。ステーのアーム側をステー取付ネジ(M5)とナット(M5)で仮止めします。(図4参照)

③ステーの反射鏡側のステー取付ボルト(M6)を左右交互に締め付けます。最後にアーム側のステー取付ネジ(M5)を締め付けてください。(アーム側を先に締め込むと組み立てにくくなります。)



■ SHA901のみ

＜マスト取付金具の組立て＞

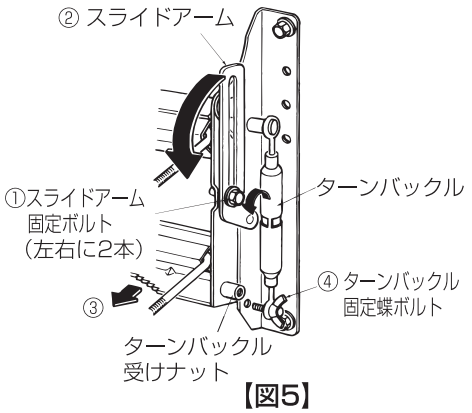
①スライドアーム固定ボルトを、スライドアームの移動がスムーズにできるように左右とも緩めてください。（図5参照）

②左右のスライドアームの上端を手前に引いてください。

③マスト取付金具本体の下部を手前に引き出してください。

④ターンバックル先端のターンバックル固定蝶ボルトをターンバックル受けナットに仮止めしてください。

〈マスト取付金具本体〉



【図5】

施工説明書

取付方法

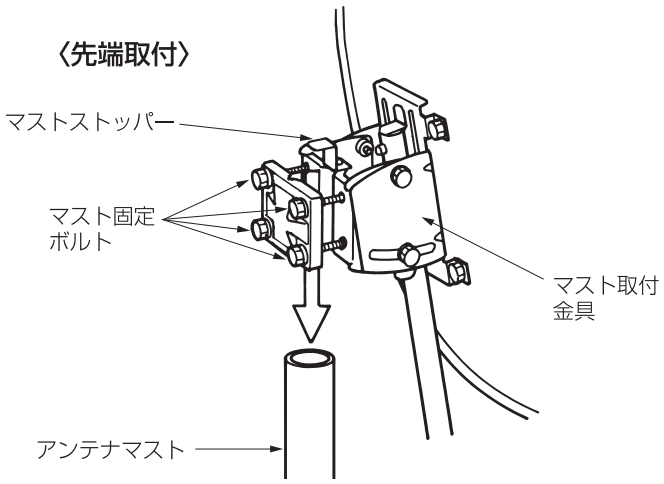
アンテナマストは垂直に設置されていることを確認してください。マスト取付金具は直径48.6mm～90.0mmのアンテナマストに取り付けることができます。

■ SHA751

＜アンテナマストの先端に取り付ける場合＞

アンテナマストがマストストッパーに当たるまで差し込み、マスト固定ボルトを左右均等に締めて仮止めします。(図6参照)
（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）

〈先端取付〉

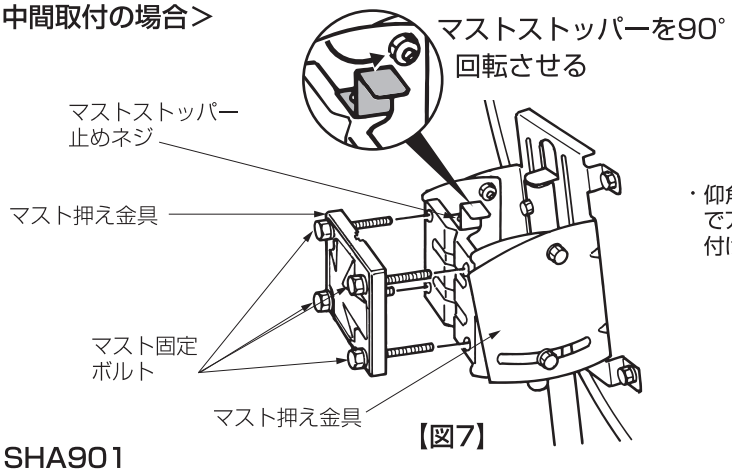


【図6】

＜アンテナマストの中間に取り付ける場合＞

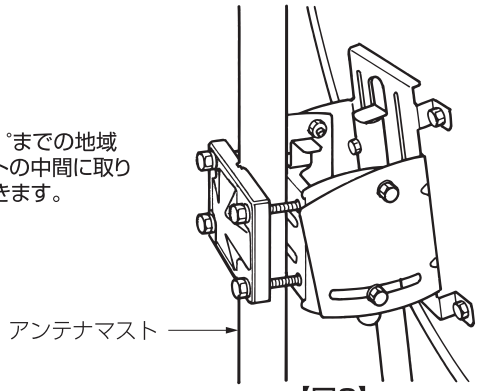
①マストストッパーの止めネジを緩めます。(図7参照)
②マストストッパーをアンテナマストが当たらない位置まで回転させ、止めネジを締め付け固定します。
※地域によっては、中間取付ができませんので、ご注意ください。
③マスト固定ボルトを緩め、必要に応じてマスト押え金具をはずします。(図7参照)
④アンテナマストをマスト取付金具とマスト押え金具ではさみ、マスト固定ボルトで左右均等に締めて仮止めします。（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後行います。）(図8参照)

＜中間取付の場合＞



【図7】

・仰角が23°～51°までの地域でアンテナマストの中間に取り付けることができます。

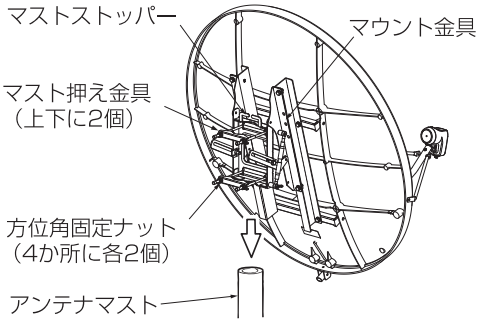


【図8】

■ SHA901

〈アンテナマストの先端に取り付ける場合〉

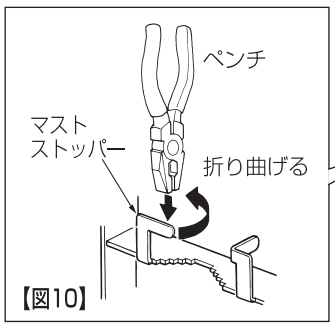
①マスト押え金具（上下2個）とマウント金具本体の間にアンテナマストが入るよう方位角固定ナット4個を十分緩めてください。(図9参照)
②アンテナマストをマストストッパーに当たるまで差し込み、方位角固定ナット4個を左右均等に締めて仮止めしてください。(注)



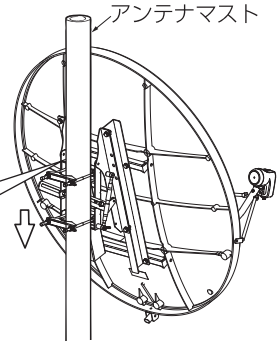
【図9】

〈アンテナマストの中間に取り付ける場合〉

※地域によっては、中間取付ができませんのでご注意ください。
①マストストッパーを図のように折り曲げます。(図10参照)
②方位角固定ボルトを緩めアンテナマストを差し込みます。
③アンテナマストをマウントとマスト押え金具ではさみ、方位角固定ナットで仮止めします。



【図10】



・仰角が25°～55°までの地域でアンテナマストの中間に取り付けることができます。

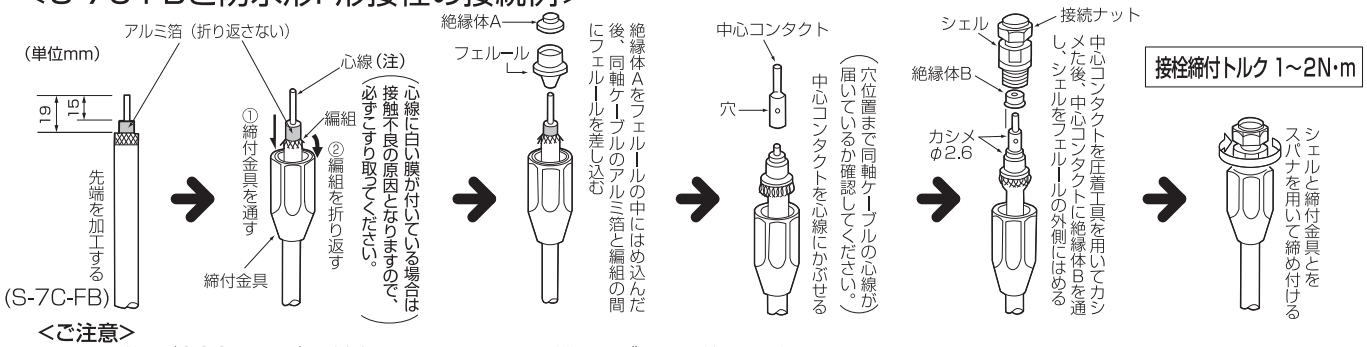
（最終的な固定はアンテナを最良の受信方向に調整した後におこないます。）

施工説明書

同軸ケーブルの接続方法と出力端子への接続

・接栓の種類によって同軸ケーブルとの接続方法が変わります。（接続例はS-7C-FBとS-5C-FBの場合で記載しています。）

＜S-7C-FBと防水形F形接栓の接続例＞

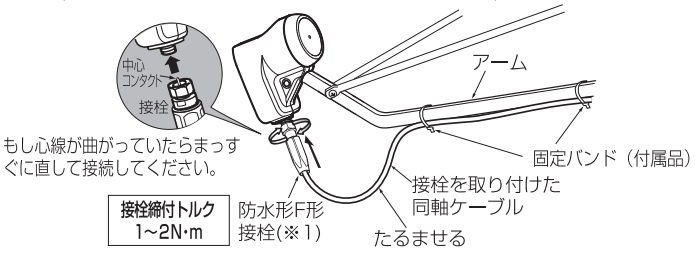


＜ご注意＞

- 4K･8K放送（3224MHz）に対応したS-7C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけたり、心線、編組は絶対に接触しないようご注意ください。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

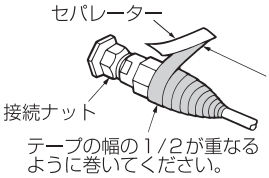
〈 出力端子への接続 〉

①図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1～2N･mで締め付けてください。
(2N･mを超えると破損するおそれがあります。)



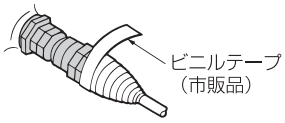
〈 防水形F形接栓の防水処理 〉

②自己融着テープを巻き付けます。



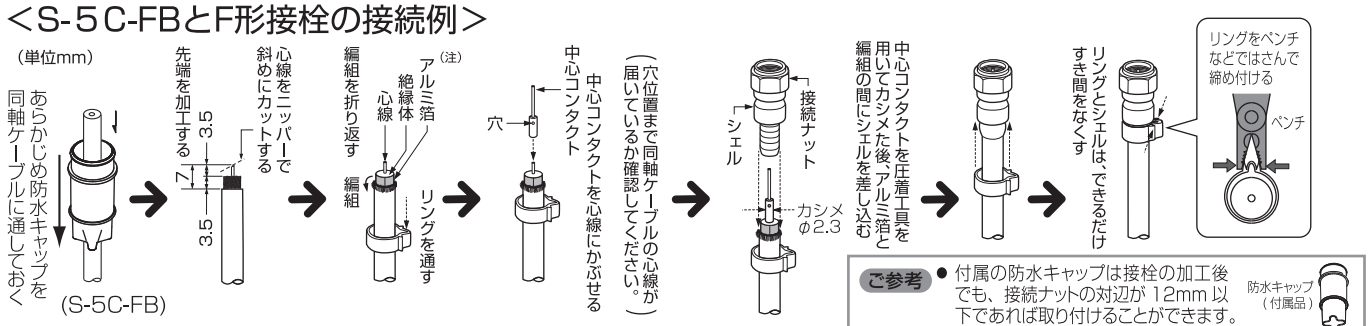
自己融着テープ（市販品）は、長さ1.5倍になるように引張りながら接続ナットの上まで巻いてください。巻き終ったら指でおさえて密着してください。

③さらにその上にビニルテープ（市販品）をすき間のないように巻き付けます。



（※1）防水形F形接栓F-7FH接栓（別売）を使用する場合、付属の防水キャップは使用しません。

＜S-5C-FBとF形接栓の接続例＞



(注)アルミ箔は折り返さないでください。

(注)心線に白い膜が付いている場合は、接触不良の原因となりますので、必ずこすり取ってください。

ご参考 ● 付属の防水キャップは接栓の加工後でも、接続ナットの対辺が12mm以下であれば取り付けることができます。

ご注意： 接栓の加工後に防水キャップを通す際は、心線で手を突くなどしてけがをしないようご注意ください。（特に冬季などの低温時は防水キャップが硬くなり、通しにくいためご注意ください）

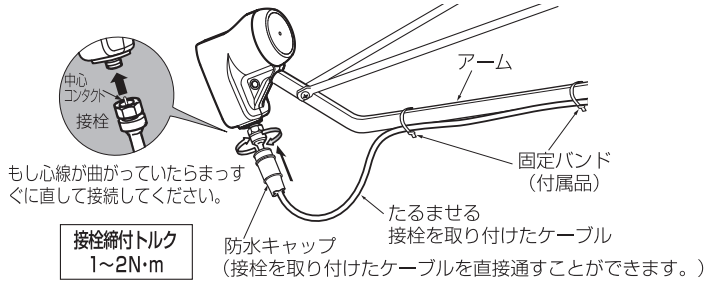
防水キャップ（付属品）　12㎜以下　接続ナット

＜ご注意＞

- 4K･8K放送（3224MHz）に対応したS-5C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけたり、心線、編組は絶対に接触しないようご注意ください。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

〈 出力端子への接続 〉（付属の防水キャップ使用）

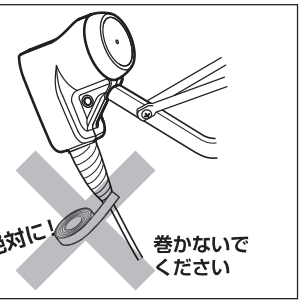
①図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1～2N･mで締め付けてください。(2N･mを超えると破損するおそれがあります。)
②同軸ケーブルに通しておいた**防水キャップをコンバーターの防水キャップ溝に差し込んでください。**
③防水キャップが曲がったり、変形してはずれないように同軸ケーブルにはゆとりを持たせて付属の固定バンドでアームに固定してください。



禁止

テープで巻かない！

コンバーターや防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。
雨水がたまって故障の原因となります。

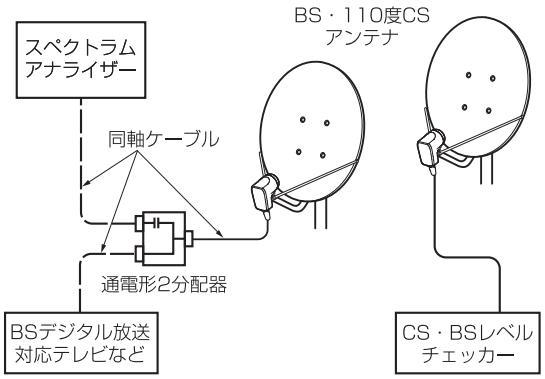


施工説明書

調整方法

■ SHA751

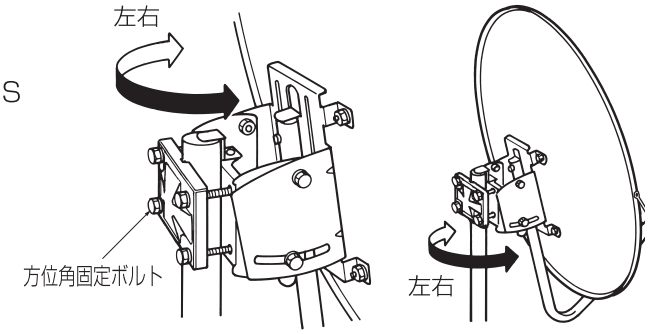
BS･110度CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。BS･110度CSアンテナの正確な方向調整はCS･BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いて実際に衛星からの電波を受信して行います。



① 図のようにBS・110度CSアンテナにCS・BSレベルチェッカーを接続するか、または通電形2分配器を用いてスペクトラムアナライザー、BSデジタル放送対応テレビなどに接続してください。

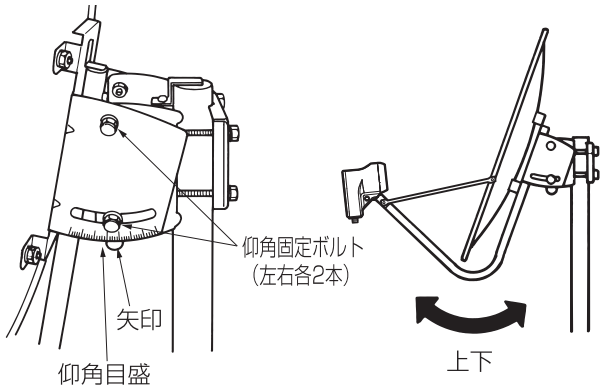
② コンバーターへCS･BSレベルチェッカーなどからDC15V電源を供給してください。
（この項のご説明は、CS･BSレベルチェッカーを使用した場合で代表しています。）

③ 「各都市の仰角と方位角」（11ページ）の各部分でのBSを参考に④、⑤の作業を行ってください。



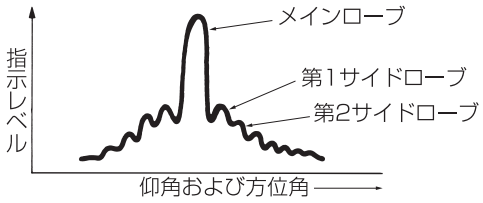
④ アンテナの方向を左右にゆっくりと振ってCS･BSレベルチェッカーで受信レベルが最大となる方向に調整し、アンテナが左右にずれないよう方位角固定ボルトを仮止めします。

⑤ 仰角固定ボルトを緩めてアンテナの方向を上下にゆっくり振って、CS･BSレベルチェッカーで受信レベルが最大となる方向に調整し、アンテナの方向が上下にずれないよう仰角固定ボルトを仮止めします。④､⑤の操作を繰り返し行なってください。



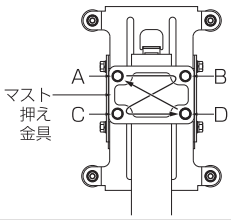
※④､⑤の操作を行うときにスペクトラムアナライザーを使用する場合、サイドローブと間違えないために、最大受信レベルを通り越して次のピークとなるところまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大受信レベル時（メインローブ）の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。

（仰角・方位角/受信レベル）特性



⑥ 最良の受信状態となった位置で、マスト押え金具の方位角固定ボルトを方向がズレないように〈ご注意〉を参考に左右交互に締めしっかりと固定します。

〈ご注意〉
方位角固定ボルトは4本が均等に締まるように、右図のAからDまで順番に2、3回転ずつ締めてください。



⑦ 最後にCS･BSレベルチェッカーで受信レベルを 確認しながら仰角の調整を行い、最良の状態で4本の仰角固定ボルトを締めて、しっかりと固定してください。

各ボルト締付トルク　8～10N・m

施工説明書

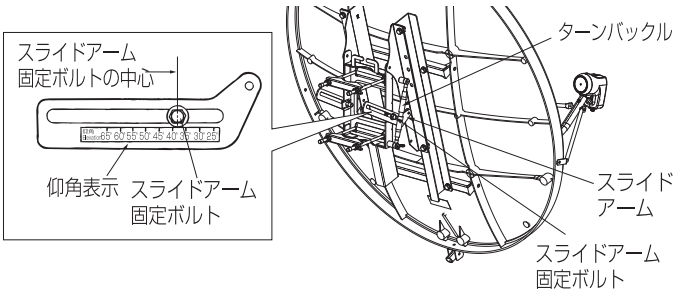
調整方法（つづき）

■ SHA901

<仰角の粗調整>

①（11ページ）「各都市の仰角と方位角」からアンテナ設置地区のおよその仰角を求めます。

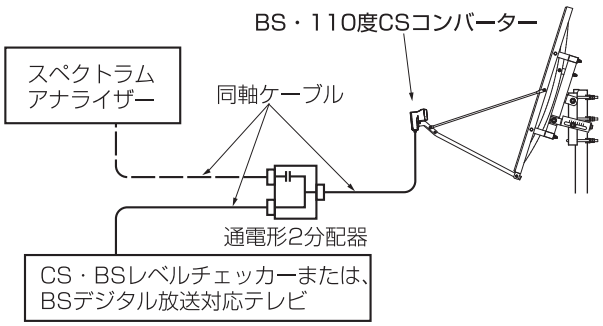
②ターンバックルをスパナなどで回転させて、スライドアーム固定ボルトの中心を①で求めた仰角の位置に合わせて仮固定してください。（左右2か所）



<方位角の粗調整>

③（11ページ）「各都市の仰角と方位角」からおよその方位角を求めます。

④市販の方位磁石などでおよその方向を確認し、マスト押え金具の六角ナット(4か所)（※1）を緩めて反射鏡を回転させ、六角ナットを締めて仮止めしてください。



<仰角・方位角の正確な調整>

⑤正確な方向調整は実際に衛星からの電波を受信して行います。

図のようにBS･110度CSアンテナにCS･BSレベルチェッカーを接続するか、または通電形2分配器を用いてスペクトラムアナライザー、BSデジタル放送対応テレビなどに接続してください。

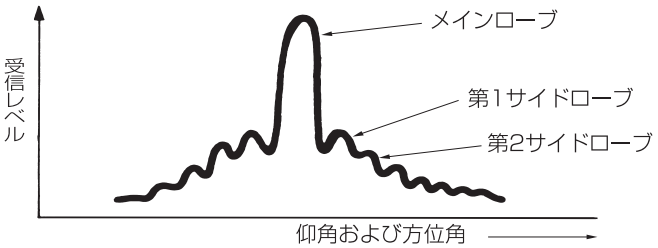
BS･110度CSコンバーターへDC15V電源を供給してください。（この項のご説明は、CS･BSレベルチェッカーを使用した場合で代表しています。）CS･BSレベルチェッカーでBS･110度CSアンテナ受信レベル表示を見ながら受信レベルが最大になるよう方向調整します。

⑥マスト押さえ金具の六角ナット(4か所)（※1）を緩めます。

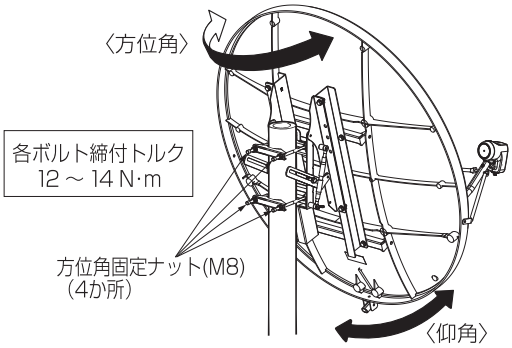
⑦アンテナの方向を左右にゆっくりと振ってCS･BSレベルチェッカーで受信レベルが最大となる方向に調整します。

※このときにスペクトラムアナライザーを使用する場合、サイドローブと間違えないために、最大入力レベルを通り越して次のピークとなるところまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大受信レベル時（メインローブ）の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。

（仰角・方位角/受信レベル）特性



⑧六角ボルトを仮止めします。（ダブルナット内側の4か所）



⑨⑥から⑧までの方法で電波が受信できない時は、スライドアーム固定ボルトを緩めてターンバックルを回転させアンテナの仰角を少し（約2～3度）上または下にずらして、⑥、⑦、⑧の操作を繰り返し行なってください。

⑩次にターンバックルをアンテナの仰角を上または下にゆっくり振り、CS･BSレベルチェッカーで受信レベルが最大となる方向に調整します。

※このときにスペクトラムアナライザーを使用する場合、方位角と同様にサイドローブと間違えないためにこの振れを通り越して、次の受信レベルが大きくなるところまでターンバックルを回して図のような（仰角･方位角受信レベル）特性になっていることを確認した後、受信レベルが最大（最良）（メインローブ）の仰角に戻します。

⑪スライドアーム固定ボルトを締めて仮止めします。

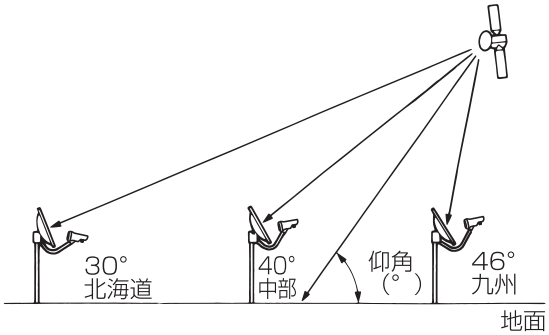
⑫再度、⑥、⑦の操作を行なってください。

⑬最良の受信状態となった位置で、マスト押え金具の六角ナットを方向がズレないように左右交互に締めしっかりと固定します。

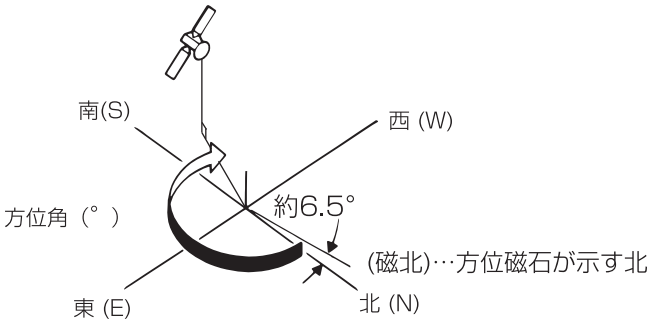
⑭最後にCS･BSレベルチェッカーで受信レベルを確認しながら仰角の調整を行い、最良の状態でスライドアーム固定ボルトを左右交互に締めて、しっかりと固定してください。

調整方法（つづき）

・仰角……受信点から衛星を見上げた角度



・方位角…真北から東回りに測った衛星の角度



・仰角、方位角は地域により異なります。同じ地域でも場所により多少異なります。
・この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。
・75形仰角調整範囲は、23°～67°（中間取付23°～51°）です。90形仰角調整範囲は、25°～65°（中間取付25°～55°）です。

■各都市の仰角と方位角（地域や場所によって異なります）

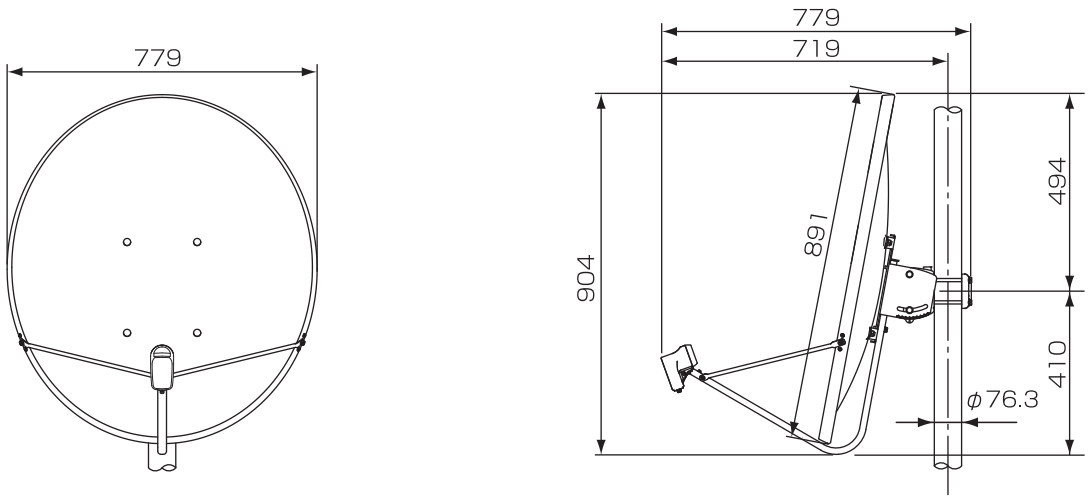
都市名	仰角（°）	方位角（°）	都市名	仰角（°）	方位角（°）	都市名	仰角（°）	方位角（°）	都市名	仰角（°）	方位角（°）	都市名	仰角（°）	方位角（°）
稚　内	29.1	220.9	宇都宮	37.2	224.0	富　山	38.7	220.7	姫　路	41.8	218.8	大　分	44.9	215.9
旭　川	30.1	222.5	水　戸	37.0	224.8	金　沢	39.2	220.1	和歌山	42.0	219.9	熊　本	45.8	214.9
釧　路	29.6	225.1	前　橋	37.9	223.1	岐　阜	40.1	221.1	鳥　取	41.4	217.7	佐　賀	45.6	214.0
札　幌	31.2	221.7	土　浦	37.4	224.7	名古屋	40.1	221.5	松　江	41.9	216.1	長　崎	46.3	213.8
函　館	32.5	221.7	さいたま	38.0	231.5	豊　橋	40.2	222.3	岡　山	42.3	217.9	宮　崎	46.2	216.6
青　森	33.3	222.3	千　葉	37.9	224.6	津	40.8	221.2	広　島	43.4	216.2	鹿児島	47.0	215.6
盛　岡	34.0	223.4	東　京	38.0	224.4	福　井	39.8	219.9	徳　島	42.5	219.2	那　覇	53.6	215.9
秋　田	34.6	222.2	甲　府	38.7	223.0	大　津	40.9	220.2	高　松	42.6	218.4	宮古島	56.3	213.1
仙　台	35.3	224.0	厚　木	38.4	224.2	京　都	41.0	220.0	松　山	43.7	217.0	西表島	57.6	211.0
山　形	35.6	223.4	横　浜	38.3	224.5	奈　良	41.4	220.2	高　知	43.5	218.3	石垣島	57.4	211.5
福　島	35.9	223.9	長　野	38.2	221.9	大　阪	41.5	220.0	山　口	44.3	214.4	与那国島	58.0	209.1
新　潟	36.6	222.1	静　岡	39.4	223.3	堺	41.5	220.0	北九州	44.7	214.4			
郡　山	36.3	224.0	浜　松	40.1	222.7	神　戸	41.6	219.6	福　岡	45.2	213.9			

(注)各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石を用いて方位角を求めるときは、表示角度に約6.5度を加えてください。

外形寸法図

■ SHA751

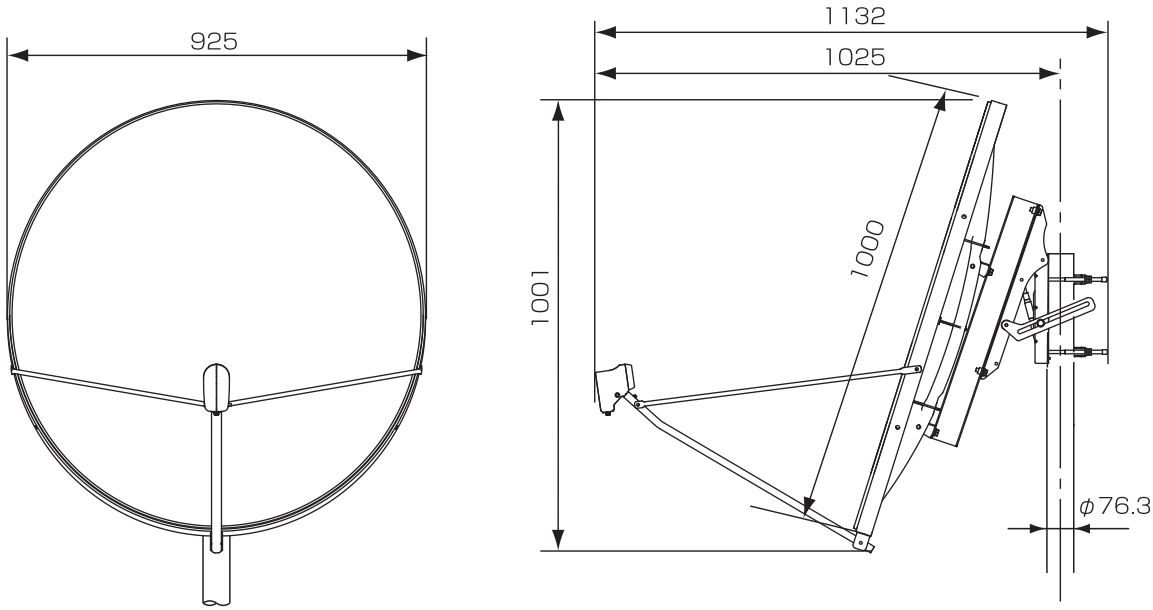
正 面　　側 面　（単位：mm）



寸法はアンテナ仰角が40°、ポール径φ76.3mmの場合の最外形寸法です。

■ SHA901

正 面　　側 面　（単位：mm）



寸法はアンテナ仰角が40°、ポール径φ76.3mmの場合の最外形寸法です。

カスタマーセンター
土・日・祝日もご利用ください!
ナビダイヤル
0570-033-083
※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
(1908)
DXアンテナ株式会社
■ 受付時間 9:30〜17:00（夏季・年末年始休暇は除く）
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合:050-3818-9016
ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/
5129-3